

会 議 要 旨

会 議 名	平成28年度第1回館山市地域公共交通会議
開 催 日	平成28年9月29日（木）午後1時30分～午後3時00分
開催場所	館山市役所本館2階会議室
出席者	[委員] 19名 [館山市] 総合政策部長 企画課長 企画課副課長 企画課職員
公開 非公開の別	原則公開
傍聴人数	5名
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 副市長あいさつ</p> <p>3. 新委員紹介</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 「観光栈橋線」の休止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光栈橋線の運行主体は、館山日東バス株式会社、JR館山駅西口から、海岸通りを經由し、終点は“渚の駅”たてやま、起終点以外の停留所は設置しない直通バス。 ・ 運行距離は、約1.2 km、運賃は150円、こども80円。 ・ 主に、高速ジェット船の季節運航時の2月、3月に、運行している。 ・ 本路線は、館山夕日栈橋を利用する観光客の2次交通の確保等を目的に、安房地域では78年ぶりの新路線として、平成23年2月5日に運行を開始。 ・ 通常、新規路線の審査には、その手続が約3ヶ月かかるところを、館山市地域公共交通会議において合意を得たことから、運行認可が下りるまで、約1ヶ月と短縮された。 ・ 観光栈橋線は、運行開始以来赤字が続いており、ここ数年さらに利用者が減少傾向にあり、存続が非常に厳しい状況。 ・ 運行する館山日東バス株式会社より、館山市地域公共交通会議に対し、路線休止協議の申し出があった。 ・ 観光栈橋線は、本交通会議の合意を得て開設した路線であり、休止する場合も本交通会議で協議することが望ましい。 ・ 通常、路線を休止又は廃止する場合、国土交通大臣に6ヶ月前まで届出をしなければならないが、本交通会議で路線休止の協議が調った場合は、30日前までに届出できることになる。 ・ 申し出のあった、「観光栈橋線」の休止について、承認するか否か協議願いたい。
委員A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の結論としては、利用客も少なく、路線休止やむなしと判断することとしてよろしいか。 <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>(2) 南房総市地域公共交通再編実施計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南房総市では、国土交通省の、地域公共交通確保維持改善事業により、平成26年から地域の公共交通ネットワークの再構築として、“地域公共交通網形成計画”及び“地域公共交通再編実施計画”の策定に取り組んでおり、この度、再編方針（案）が示されたので説明。 ・ ①豊房線 <ul style="list-style-type: none"> 運行経路については、館山市内は現況同様、南房総市区間において、JRバス運行の「南房州本線」との重複区間を解消し、効率化を図るため、国道410号の海岸線を通る経路としている。

<p>委員B</p>	<p>運行ダイヤは、現況 4.5 往復が 4.0 往復 年間の経常費用については、約 9,500 千円とほぼ同額の試算。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ②千倉線 運行経路の見直しについては、館山市内は現況同様、南房総市区間において、白浜千倉線との考慮をし、一部重複する区間である、千倉駅入口から平館車庫間は短縮とし、官公庁と商業施設を中心とした経路を時間帯により設定。 運行ダイヤは 現況と同じ 5.0 往復 年間の経常費用については、現況約 11,600 千円が、約 9,500 千円となり、約 2,100 千円の減額。 ・ ③丸線・平群線 運行経路の見直しについては、館山駅から需要の多い区間は存続し、「三芳分庁舎」から先の区間の効率化を図る。 館山駅から、那古、三芳分庁舎を経由し、安房地域医療センターまでの路線<（仮称）館山三芳線>と、三芳分庁舎以北・以東の路線<（仮称）平群・丸線>に再編する。 運行ダイヤは現況、平日では、丸線 6 往復、平群線 4 往復の計 10 往復の運行だが、見直し後、（仮称）館山三芳線は接続性を考慮し、1 往復増の 11 往復に、休日は、現況、丸線 4 往復、平群線 4 往復の計 8 往復だが、見直し後も同じ 8 往復となっている。 年間の経常費用については、現況約 28,200 千円が、見直し後約 24,700 千円となり、約 3,500 千円の減額となる。 今回、見直しの路線は、いずれも、館山駅を起点終点に、館山市内を運行しており、館山市民にも影響が及ぶ対象者などがあることも想定されるため、南房総市で、再編実施計画（素案）のパブリックコメントを実施する際に、館山市でも同じようにパブリックコメントを実施する方向で調整したいと考えている。 ・ この計画は、南房総市が策定したもので、本日は、委員の皆様にご審議いただくのではなく、情報提供という形での説明ということになる。ご意見等については、今後予定されているパブリックコメントの際にお願いしたい。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本大学工学部交通システム工学科教授轟委員より、『水上空港ネットワーク構想』についてご紹介いただいた。 <p>5. 閉会</p>
------------	--